

第 2790 地区
管理運営統括セミナー
記録

2023年11月23日（祝） 於 TKPガーデンシティ千葉





司会進行 管理運営統括副委員長 亀田 美穂（鴨川 RC）



開会の辞 管理運営統括委員長 佐々木 高治（千葉 RC）

皆様こんにちは。今日はお休みのところ、かくも大勢お集まり頂きましてまことにありがとうございます。15 テーブルありますから、各テーブル約 10 名ずつ着席頂いております。150 名の方が今日、ここにお集まり頂いております。私は、管理統括委員長の佐々木高治と申します。所属は千葉 RC、千葉コネクト RSC でございます。今日は一日どうぞよろしくお願ひ致します。今日のセミナーの趣旨を簡単にご説明させていただきます。実は今日、縁起のよいことに鶴沢年度、千葉県誕生 150 周年と重なっていると、皆さんご存知でしょうか。そして今日は、千葉市の 150 周年パレードがあるということで市役所通りは、すごい人通りになると聞いております。先々週、日曜日に館山でこのパレードが行われたそうですが、館山の人口 4 万 5 千人、パレードに参加した方、なんと、5 万 8 千人だということですから、相当なパレードになったようです。ミッキーマウスが登場して、パレードを彩っているということでございます。そのミッキーマウス、11 月 18 日が、95 才の誕生日だそうです。今日もパレードに、ミッキーマウスが来てますから、大変な人どおりになっているということです。皆様がここに時間通り来れるかどうか、私も本当に心配しておりましたが、こうやって大勢の方に集まって頂いて、本当にありがとうございます。今日、皆様にお集まり頂きまして、特に後半お部分で、テーブルディスカッションを、お願いしております。これは、皆様のクラブが、どう活性化していくか、Bring up engagement エンゲージメントを育もう。いかに自分たちのクラブに愛着を持っていただくか。とういことをテーマに話あっていただきたいと考えております。次第にあるとおり前半は、各委員長から、RI 最新情報あるいは、今年度の、管理運営委員会のトピックスを、手短にお話させていただきます。残りの後半、15 班に



分かれておりますけれども、テーブルディスカッションを行いたいと思っております。今年度に入って、研修方式が変わったというのは、皆さんご存知のとおり。ちょっと前のパワーポイントを見て頂ければ。トレーニングから、ラーニングへと。いうことだそうです。これ、ロータリーの友から、11月号ですね。第2790地区のpastガバナーの漆原さんの、座談会から、頂いた、ものなんです。読ませて頂きますと、学びのアプローチが、研修モデルからラーニングモデルに移行した。教えるを受ける研修を受けるという、受動的な研修方式から、ファシリテーターの進行によって参加者同士で、お互いが意見交換して学び合う方式に転換。トレーニングとは、訓練する。似た言葉でstudy。これは、勉強する過程を示す言葉。ラーニングは、結果を求める学び。トレーナーがいなくても結果を求める学びを自発的に行うこと。研修モデルからラーニングモデルへと。会員自らが、積極的にラーニング、学びに関与し、それを自らコントロールできるようになることを意味します。ロータリーにおけるリーダーの役割は、会員が知るべき情報を教える。講師ではなく、会員がアイデアを共有できるように、導く。ファシリテーターとしての役割を担う様にします。これ、皆さまがご存知のように、役職名が今年から、

クラブ研修リーダーは、クラブラーニングファシリテーター
地区研修リーダーは、地区ラーニングファシリテーター
地区研修委員会は、地区ラーニング委員会
国際協議会研修リーダーは、国際協議会ラーニングファシリテーター
地域リーダー研修セミナーは、地域リーダーラーニング行事
というふうに名称も変わっております。

ファシリテーターって、ちょっと聞きなれない、名前でしたので、これAIを駆使して、調べてまいりました。ファシリテーターというのは、促すという意味らしいです。ファシリテーターとは、会議や研修など、進行役で、参加者の発言を促したり、話しをまとめたりする事で、話し合いをより良い合議に導く人のことです。司会とは異なり、単なる進行役にとどまらず、意見の対立や、感情のぶつかり合いを、うまくコントロールし、目標、目的の達成を支援します。ファシリテーターは、参加者に発言を促すサポート役、会議や研修の目的である、合議に参加者を、確実に導く、誘導役を担います。ファシリテーターと司会の違いは、司会は、会の進行役を担う人手あり、ファシリテーターとは異なり、会の参加者に、発言を促す役割は、効果ありません。ということが、ファシリテーターということらしいです。今日は是非、グループディスカッションです。各テーブルに一人ずつのファシリテーターがつかますので、その方の、進行も、是非、いて頂ければなど、思います。では、今日、一日、よろしく願いいたします。



ガバナーご挨拶 鶴沢 和広（千葉若潮 RC）

皆さん、こんにちは。今日は、管理統括委員会、佐々木統括委員長をはじめ、委員会の皆さん、準備ありがとうございます。そして150名にのぼる、クラブリーダーの皆さんにお集まりを頂いて、活発な議論をしていただければと、思います。私は先週ですね、土曜日、日曜日に、伊勢神宮に参拝をして参りました。世界の平和と、第2790地区の発展を、ちゃんとお祈りをして参りました。その後ロータリー研究会に行きましてですね、また同期のガバナー、そして、シニアリーダーの皆さんと、楽しくいろんな話をして頂きまして、毎晩のように、engagementを、育みすぎておりましてですね、過ぎると、睡眠不足になるんだと、いうことですね、最後の、ロビー寝をしたり、部屋で2時過ぎまでですね、あまり、ベッドの上であまり長い時間、寝てなかったなど。そんなところがあります。今日も、真っ直ぐには帰してくれない。と。一部から、そんな話しがきておりますけれども。皆さん、地区の委員会のなかでは、理念を、皆さんに植え付けていくという委員会もごございます。理念の委員会のすることは、ロータリアン個人個人が、一人が、自分のなかで自分なりのロータリー観を築いていくと。いうことで、自分なりのロータリーを理解して、そして自分で、個人でいろんなところで奉仕をしていくと。ということだと思います。管理運営統括委員会が、皆さんと一緒にすすめていくこの委員会が、クラブで行う、グループで行う、そういういろんな活動について、そしてその結果が、クラブがいかに活性化していくか、地区を活性化していく、グループを活性化していく。いうことですので、そういうふうに御理解を頂いて、皆さんの意見を、活発に交換をして頂いてですね、自分のクラブ、どんなふうに明るく活発にもってといけるか、ということ、研究をして頂いて、意見交換をして頂きたい。そんなふうに思います。今日の一日が素晴らしい皆さんの日になりますように、期待をして、私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひ致します。



ガバナーエレクトご挨拶 寒郡 茂樹（富里 RC）

皆さん、こんにちは。本日はご苦労さまでございます。私のほうからはですね、一言、私も今日は、ファシリテーターですね、加わってですね、ファシリテーター、できるかどうか分かりませんが、やらせて頂きます。やはりいろいろな会議に行きますと、今RIは、全てこういう形のセッションをして、ファシリテーターが、ファシリテートして頂いて、皆さんでいろんな意見を、活発に話をする。これは、結論を出さなければいけないことではなくて、その議論のなかで、「あ。こういうことが、あるんだ。」と。「あ。これは自分の中で、やっぱり変えなければ、いけない。」とかですね、気づきということが、どうも一番大事なことだと、思います。今日は、ほとんど参加されている方は、皆さん経営者の方が多いと思いますが、会社でも非常に使えるなど、いつも思っています。やはり、皆で会議をしても、一つの方向に皆が向いて頂くような、ファシリテーションの技術は非常に大事だなど、いつも感じておりまして、そういった意味ではRLIはですね、第2790地区は本当に盛んでございますが、ファシリテ

ーターの方が、沢山いらっしゃるので、本当に心強い限りでございます。私も、私の年度になりましたら、なるべくこのセッションを増やしてですね、また、ファシリテーターの方に、上手くこう、議論を導いて頂いてと、いうふうに思っております。今日は、御一緒させていただきますので、よろしくお願い致します。以上でございます。ありがとうございました。



ガバナーノミニーご挨拶 時田 清次 (市原中央 RC)

皆さん、こんにちは。先程、鶴沢さんがおっしゃったとおり、今週の月曜日と火曜日、水曜日とロータリー研究会に行ってきました。私はガバナーノミニーなんで、今年初めて月曜日の日に、ガバナーノミニートレーニングトレーニングセミナーというのが、ありまして、全国 34 地区のガバナーノミニーが集まって研修を受ける。9時から5時まで、私とパートナーを、あわせて、みっちり研修を受けさせてもらいました。そういう会があるということと、RI 会長のマッキナリーさんが、火曜日水曜日と、香港からこちらの方に来て頂きまして、そこでまた、Create Hope という形で、講演を頂きました。結局、幸せを作り出すわけなのですが、それというのは、例えば、コロナだとか、紛争、そうことにあっている人たちを、癒してあげるっていうのが、一番の目的で、その先には、平和を求めなければ、いけない。というお話でした。ですので、マッキナリーさんが、おっしゃったように、こういう会議の中で、そういう気づきをもって頂いて、クラブに持ち帰って、少しでも、テーマである、Create Hope を実現できるように、是非とも、有意義な会議にして頂きたいと思います。以上です。



ガバナーノミニー・デジグネートご挨拶 森島 弘道 (新千葉 RC)

皆さんこんにちは。第3グループの、新千葉 RC 所属の森島 弘道と申します。本日はお疲れ様で、ございます。本日、本セミナーを通して、私も、学びが深められるように、努めていきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



地区ラーニングファシリテーター 寺嶋 哲生 (柏 RC)

皆様こんにちは。本年度、ラーニングファシリテーターを仰せつかっております柏 RC の寺嶋でございます。昨日と、一昨日でございますが、神戸でロータリー研究会というのが開かれまして、そこで何人かが、出たのですが、第 2790 地区というのは、全国のなかでも、かなりアクティブな地区であるという評価を頂いているように思います。ここ数年のことでございましょうか。昨日も、ゴードン会長のテーマにちなんだ、Create Hope の活動事例ということで、鶴澤ガバナーが、4人しか発表なかったのですが、そのうちの1人で、鶴澤ガバナーが選ばれて、発表をされました。最後は、RI 会長、RI 理事まで、全員立たせて Take Action というのを、やらせていました。それほどの素晴らしい発表をされました。それにちなんで行われました、フォトコンテストと



というのがあったのですが、全国から応募されたものの中で、8点、入賞者が出ました。そのうちの8点のうちの、なんと2点が、この第2790地区でありまして、1点は大木幹事長が、応募された、作品。もう1点は、広報公共イメージの委員長であります、松永さんが、応募された作品。2点が選ばれました。そしてそのなかから、さらに、より大きな賞が選ばれたのですが、なんと一番いい、RI会長賞というのが、松永委員長がお取りになりました。（会場拍手拍手）壇上に上がられまして、松永さんご本人が、お出ででいらっしゃいましたので、壇上に上がって、RI会長から直々に、その賞を頂いておりました。たぶん写真に撮ったのを、もっていらっしゃるとお思いますので、後で皆様、みせてもらってくださいませ。第2790地区が、皆様の御協力で、大変アクティブな地区であることの、事例報告でございました。どうもありがとうございました。



最新情報紹介

DEI推進委員会 委員長 水嶋 陽子（館山RC）

皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきました、2023-24年度、DEI推進委員長を拝命しております館山RCの水嶋 陽子と申します。

本日はどうぞ、よろしくお願ひいたします。それではここで、委員会メンバーの御紹介だけさせていただきますと思います。

DEI推進委員会 松戸西RC 山本 衛委員

千葉北RC 大谷 京子委員

鋸南RC 堀田 了誓委員

よろしくお願ひいたします。まずは、前半の委員会活動についてご報告させていただきますと思います。第4グループ、第5グループ、第6グループの情報研修委員会に、DEIについてのテーマで、講演をさせていただき、DEIのお話をさせていただきました。委員会のテーマタイトルでもありますDEIについてですが、国際ロータリーの最重点推進項目の一つとなっておりますのでロータリーとDEIの関わりについてのお話をさせていただきました。まずは、DEIについての語句の説明だけさせていただきますと思います。まずDEIとは、ダイバシティイクイティ、インクルージョンの略として、国際ロータリーはロータリーの文化に新しい価値観を組み入れました。ダイナシティは多様性。差別なく、多様性を認めることを尊重しております。D ダイバシティー は、多様性。そしてE。イクイティ 公平性。そして、I インクルージョン。組織の中に違いを受け入れて、活かすことを主としております。互いにまじり合い、相互に作用し合うことを、違い活かしあえることの、状態をインクルージョンとしております。そして、今年度の初めにDEIについての理解度調査というものを、82クラブの皆様に、クラブオールにて、実施させていただきました。そのアンケート結果をご報告させていただきますと思います。まず始めにクラブ回答が68クラブございました。個人回答は134名。2023年の9月23日現



在で134名の回答をいただきました。メンバーの皆様方よりご協力をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。質問の位置からご紹介させていただきたいと思います。

DEIとは何か。あなたのDEIの理解度を教えてください。ということで皆様よりいただいた結果は、

少し知っている63.2%

言葉は聞いたことがある。18%でした

続いて2問目

ダイバシティー多様性、イクイティ公平性、インクルージョン包括性、この三つの中で知っているのを選んでください。

質問に対して。多様性が96.2%。公平性が87.7%。インクルージョンが56.2%。という結果を頂きました。

ダイバシティーイクイティ、インクルージョンのこの三つの中で、重点的に知りたいもの、興味を待つものは何ですかという。質問につきましては、多様性が40.8%。公平性が37.7%。インクルージョンが50%でした。

続いて三つの中で最も重点的に知りたいものは何ですかという質問につきましては。

興味関心がある。これが60.3%

質問後に、移らせていただきます。

あなたのクラブは、メンバーの誰もが公平に扱われ居心地の良いクラブとなっていますか？という質問は、

まあまあ良いが57.5%、そしてとても良いが37.3%でした。

続いてその質問について

少し不満がある。そうとは思えないと。選ばれた方々にご質問させていただきました。

公平に扱われていない人を知っているが、57.1%。これが主な意見でございました。

続きまして、質問6。質問後で少し不満がある。そうとは思えないと選ばれた理由を教えてください。

これは、不満というイメージの画面が出ておりますが、これは今回初めて自由回答を皆さんから多数いただきましたので、それを回答の

プログラムの中に、ワードクラウドに、組み入れまして、こういうイメージの画面を作らせていただきました。

主なご回答の中に、例会に参加してない方が運営に非協力的であるということ。そして負担が一部のメンバーに集中していて、活動への意欲に躊躇に差が出ている。

本来一番クラブを牽引して欲しい方々が、不参加や、欠席がやたらに多くなっている。という御意見を頂戴いたしました。

続いて質問7番。



平等と公平の違いを、どう思われますか。

これについては、違いを理解しているが 63.2%

違いがわからないが 18.8%という結果をいただきました。

質問 7 番

平等と公平の違いをどう思われますか。

平等はイコールティ。 公平は、イクイティ。

代表の回答としては、わからないとは思えないが理解しているまでは自信がない。

平等はスタートラインが同じ。公平はゴールラインが同じという理解をしています。という貴重なご意見をいただきました。

続きまして、質問 8 番

ロータリークラブでの関わりの中であなたが大切にしているものなんですか

円満な人間。これが一番で 81%。そして二番目が受け入れる姿勢。対話を大切にしている。これが 67%

自分を、違う考えを一方向的に否定しない。これが 64%

礼儀、マナーを重視する。これが 60%

御回答を、いただきました。

質問 8 番。

ロータリークラブでの関わりの中であなたが大切にしていることは何ですか
これも自由回答です。

ロータリー活動を、チャンスとしてとらえ、自分自身に会員に活かしていく。
そして異業種の集まりの中で、親睦を通して、親睦活動を共有していきたいというご意見を頂戴しました。

質問 9 番。

ロータリークラブのメンバーとの関わりがうまくいかない人がいたとして、どのような理由があると思われましたか。

1 番、利益や自身の都合、目的を、優先する。これが 50%、そして自分の話ばかりをする。42%

裏表がある発言や行動が多い。32.8%。そして会員との関わりが苦手である。というのが 30.5%。

続きまして質問 9 番の自由回答です。

ロータリークラブのメンバーとの関わりがうまくいかない人がいたとして、どのような理由があると思われますか？

出席率が低いと必然的に話す機会が少なくなる。

また DEI の精神に、則すれば、過去に自分がどれだけの成果を出し、どれだけの地位があったとしても、今クラブの活動においてどれだけ

真摯に向き合っているかが大切であると考えます。

ロータリーの、我がクラブは、そういう、方法を考えております。ということで貴重な意見をいただいております。

また質問 10 番



ロータリークラブは女性の進出が遅れているか。どう思いますかという質問をさせていただきました。

そう思うが 30.6%

少しそう思うが 24.6%

どちらでもないが 23%

そう思わないが 15.7%

質問 10 番。

ロータリークラブは女性の進出が遅れていると思います。の自由回答をまとめさせていただきました。

ジェンダーギャップ指数は、125 位と世界で、約 125 番目で、かなり先進国としては、低い位置にあります。妥当な会員数だと思います。

地方だと、さらに、女性経営者を見つけるのは困難だと思います。

ロータリークラブが遅れているのではなく、社会において、事業活動において女性の進出が遅れているというのは根本的な問題だと思います。という意見を頂戴しています

続いて質問 11 番。

女性の進出が、遅れていることをどう思いますかというご質問を、させていただきました。

既存の会員に、女性が、いないクラブが多いため、新規の女性会員が入会しづらい風土になる。

また、受け入れ側として、女性が入りやすい環境になってきていますが、ロータリーを知る機会が日本では少ないのではないのでしょうか。

それによりロータリーの認識度を、低く、男性も女性も減ってきているのかもしれない。というご意見を頂戴いたしました。

続きまして、質問 12 番。

自クラブで、すでに実施されている DEI の事例がございましたら、ご記入お願いしますという質問につきまして。

わからない 31%。

事例がないが 28.7%

事例がある 8.5% ございました。

クラブ数にすると、11 クラブございます。

是非ともこれから DEI 推進のクラブ、運営の参考に、是非ともその 11 クラブは訪問させていただいて、

実際の DEI の様子を見てみたいなと思っております。

続きまして、質問 12 番

自クラブですでに実施されている DEI の事例がございましたらご記入ください。自由回答

執行部が、会員個々の能力をクラブに生かせるか、会員個々が、クラブにいかに関与できるか

自分の事業を発展させるか、重くならない程度に会員に、例会で問う様にした



い。

全く同一じゃないかもしれませんが、四つのテストは DEI と発想を同じくするものであり、

例会事に、四つのテストを確認する。

これが DEI の事例のひとつといえるのではないかと思います。というご意見を頂戴いたしました。

質問 13 番。各クラブの中で、親睦会等の参加者の現状をお伺いします。

親睦会への参加するメンバーについては

都合のつくメンバーが参加する 81.4%

いつもほとんど同じメンバー 18.8%という回答頂戴しました。

質問 13 番

各クラブの中で親睦会の参加者の現状を、お伺いいたします。これも自由回答させていただきました。

いつも参加するメンバーがだいたい決まっているが、昼の例会は無理だが、夜なら大丈夫のメンバーもいるので積極的に参加を進めています。そのために以前より多く夜間例会を組み込めるようにしたいと思います。

質問 13 番。各クラブの中で、親睦会等の参加者の現状をお伺いいたします。

親睦会等にだけ参加される会員の方は、おいでですか？という質問をさせていただきました。

あまりない。 29.9%

どちらとも言えない。 26.9%

多い 16.4%

続きまして質問 14 番。

DEI 委員会に何か求めることがございましたらぜひご意見を頂戴したい。アンケートさせていただきました。

DEI を実施するための具体的な手法や手順について、良いアイデア事例があれば情報を提供していただきたいという意見を頂戴いたしました。

質問 15 番

言語のロータリークラブにおける DEI のご意見がございましたらお聞かせくださいということ

多様性を尊重するということは、自分とは違う立場で、意見、思想を持つ、他者を認めるということですから、口で言うほど簡単な事ではありません。

本当に、多様性を受け入れる覚悟があるのであれば、自答するところから始めるのは必要と思います。という貴重な意見をいただきました。

また意見の相違があることを認めた上で多くの人にとって、良い結果を導くことができるのが、少しでも、そうした理念が実現に近づけること大切にしたい。

という、ご意見もいただきました。

皆様より、沢山の御意見を頂戴しましたので、ぜひとも、この機会に、ご披露させていただきたいと思い、この時間を使わせていただきました。本日の機会が、今後のクラブの DEI 推進の一助になれば幸いです。年間を通しまして、

DEIについて、第2790地区のロータリーの輪が育まれますように。これからも、委員会活動を、進めて参りたいと思います。本日はご清聴いただきましてありがとうございました。



会員増強・退会防止委員会 委員長 吉田 理愛（勝浦 RC）

皆さん、こんにちは。会員増強・退会防止委員長の勝浦 RC 所属の吉田 理愛でございます。本日は、よろしくお願ひ致します。皆様、マイロータリーを活用されていますか。ログインとかされていますでしょうか。今日はですね、私のほうから、マイロータリーから、プレゼンの資料を拝借して参りました。国際ロータリーの最新の現況と、会員増強についてご報告し、会員にとって、魅力的なクラブ体験を生み出す方法を、御紹介します。短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

ロータリーは、会員組織であるため、会員のスキルと貢献が、全ての活動の原動力になります。ロータリーの会員基盤が強化されれば、クラブが活性化し、ロータリーの存在感が増し、地域社会の発展に貢献できる機会が増えます。クラブでの体験は、入会一年後、退会する会員と、ロータリーに留まる会員の分かれ道になることが、わかっております。行動計画に沿った持続可能な会員増強戦略の三つの主要な要素について、ご説明いたします。

第一の要素、参加者の基盤を広げるために、より多様な会員を歓迎することです。参加者がロータリーの活動の中心にいることを、確認するため、会員参加者がどのように、ロータリーと関わりたいかをたずね、ロータリーが、参加者を大切にしていることを、明確にする必要があります。

第二の要素は、既存の会員がロータリーに参加し、ロータリーの関心を持ち続けられるよう、配慮の文化を、重視することです。毎年、約15万人の新会員が、ロータリークラブに入会しております。しかし、残念なことに、同数の新会員が、1年以内に退会してしまいます。

第三の要素としては、新クラブを結成し育成する。これがロータリーの適応力を示す、活動の幅を広げることとなります。

これらの3つの要素、全て重要であり、互いに関連しています。いずれもクラブが、会員を増やすために、行動計画の優先項目をどのように採用できるかを示す事例です。目標の達成するためには、クラブ、地区、ゾーン、それぞれのリーダーが、ロータリークラブと、ローターアクトクラブの、発展に全力を尽くす必要があります。会員増強が、組織内部における、最優先課題であるというのが、そこにあります。

御覧頂いているのは、今年23年7月1日現在の会員数とクラブ数のデータです。ロータリークラブの会員数は、125万人強。これは、1万2600人の純減に相当します。昨年度、ローターアクトクラブに、初めて会員の請求書が届きました。



これにより、全世界の、ロータリー、ローターアクトと共に、正会員に関する正確なデータが得られ、1万1千強のクラブに、16万4千人以上の会員がいることが判明いたしました。これらは、よく言及される、会員総数、140万人を少し下回る結果となっておりますが、会員数は年間を通じて、変動するものであり、現在では、この数字はより大きくなっております。

ロータリーの会員維持数、維持率は、87%。

国際ロータリーは、今年、会員維持率を、90%これを、目標に掲げております。これは、私達全員の努力が必要です。

ローターアクトは、事実上、男女比の均等、均等数を達成しており、女性の会員が、47%を記しております。

ロータリークラブにおける女性の割合は、26%。

昨年度より1%上昇しており、目標の30%に近づいております。

年齢を回答した、76%のロータリアンのうち、70才以上が、18% 60才から69才が、17%

50才から59才が、18% 40才未満のロータリアンは、わずか、8%です。

こちらはですね、7月1日現在の当地区、第2790地区の統計です。ちょっと小さくてごめんなさい。ですが、グラフの、上がったたり下がったり、だけ見て頂ければ。現在のクラブ数83クラブ。7月1日付けで、会員数、2693人。この4年間で、大きく変化しています。

グラフは過去5年間の、7月1日付の会員の推移となっております。

2019年から2782名でスタートしました。2023年度は、どうでしょう。2624名ですね。グラフでも、一目瞭然ではありますが、着実に右下に減少しております。しかしですね、皆さんご承知のとおり、2019年後半から、はじまりました、未曾有の事態、新型コロナウイルス、各事業への影響を鑑みると、この結果はある意味、不可抗力ではあります。グラフを見る限り、このグラフの一番端っことは、2014年から始まっているのですが、途中この2016年から2018年のところ、順調に右肩に、上がってはおります。ということはですね、当第2790地区に、ロータリークラブで、入会を検討されている、あるいは、これから会員になろうと、可能性のある人たちは、確実に存在していると、言えます。回復傾向の兆しが、感じられます。

今年度、まだ5カ月目ではありますが、会員数は、2693名になっており、7月1日から、69名、増えております。これからどれくらい、純増会員が見込まれるかは、私たちの活動に、大きく左右されることとなります。

女性会員の割合については、どうでしょう。ちょっと、グラフには出していないのですが、先月、皆さん地区大会に参加されました。10ページ。RIの現況報告というものが載っています。そこに、2023年7月1日のデータが載っております。日本のロータリー、34地区が、女性会員7.7%。第2790地区の、女性会員の割



合は、8.7%でした。

ロータリーの世界的な会員数は、140万人近くへのぼり、120万人近くのロータリアンと、約16万5千人の、ローターアクターが、4万8千以上のクラブに所属し、世界中で、好ましい変化をもたらしております。また、ローターアクトクラブが、国際ロータリーの、加盟クラブになった現在でも、ローターアクターは人々に提供する独特の経験と、その価値を、私たちは理解し、高く、評価することが、大切であります。

2022年、昨年ですね。RIは、全会員を、ランダムに対象とする、調査を行いました。そこで、わかった最も重要なことは、クラブでの体験が、会員満足度において、最も重要な要素である。ということです。会員が、好ましい、クラブ体験について語るとき、次の5つのことを、挙げます。

クラブの方向性について、意見を述べることができ、リーダーが意見を受け入れてくれると思っている。

リーダーやクラブの焦点に、心配を寄せているかどうか。

例会をどれだけ楽しんでいるか。例会が楽しいですか。自分の居場所など、感じているか。ということです。

奉仕の機会が、有意義で、変化をもたらすものであるかどうか。

他の会員との交流が心地よいか。

ロータリーを通じて他の会員と、貴重な関係を築けたかどうか。

これら5つの要因と、それらに対応するために、リーダーや、会員がとるべき行動に考えてみましょう。

ゴードン・マッキナリー会長は、ロータリーが、会員と奉仕を受ける人の、両方を支える組織として、知られるようになってほしい。と、述べられました。そのためには会員が、ロータリーや、ローターアクトを選んだ理由を、理解することから始まります。そして、会員が私たちに何を期待しているか。を知る必要があります。会員が何を求めているか尋ね、その期待に答えようとすることは、私達が、会員を大切に思っていることを、示すこととなります。クラブのリーダーとして、会員の生活に、付加価値を与える、環境をつくることを、優先するため。次のような方法を御検討ください。

1つ。意見を取り入れる。

2つ。対立が生じた際に、対応する。

3つ。クラブの運営を、合理化し、他の、アクティビティに参加するための時間を確保する。

4つ。意思決定について、透明性を保つ。

5つ。クラブの目標と、理念を設定する際は、全会員に関与してもらう。

6つ。未来のリーダーに、メンタリングを提供する。

7つ。会員の関心と、ニーズに応える、経験を創出する。



ロータリーについて、何も知らない人が、あなたのクラブの例会に来たら、その人は、これまで以上の、その人は、好ましい体験ができるでしょうか。伝統と、革新のバランスを、見つけることができるでしょうか。今、私たちはこれまで以上に、これまでとは異なる、方法で、繋がりを築くことができます。例会に参加し、地域社会を支援し、個人的にも、職業的にも、成長する、方法を、より多く提供することができます。私たちにも、多くの多様性があります。会員やリーダーが、多様の意見をもつことで、変化する世界においてロータリーは、重要な、存在でありつづけることができます。私たちの適応力が、ロータリーの未来をより確かなものにしていく、鍵です。効果的な組織になることを、求めています。ロータリーに入会し、活動続ける理由の一つに、地域社会に有意義な変化をもたらす機会があること。が挙げられます。持続可能で、好ましい成果を、もたらす、プロジェクトには、入念な変革が、欠かせません。それぞれの地域社会には、独自の強みと課題が、あるため、様々なグループと密接に、協力しながら、最善の成果を目指すことが、重要です。より大きなインパクトをもたらすために、時には、戦略を変更する必要があります。ロータリーは、全ての人に、尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の意見を尊重し、親睦、奉仕、リーダーシップ、の公平な、機会を設けることに力を注いでおります。

このような、インクルージョンの原則は、非常に重要です。というのも、会員が自分たちの、ユニークな貢献や、視点が歓迎され、評価されていると、感じればその体験に、満足する可能性が、高くなるからです。どのような背景を有していようと、世界のどこにいようと、どれだけ長い会員歴を有していようと、全ての会員、入会候補者、参加者が、自分が大切にされている、尊重されている、歓迎されていると、感じる事が重要です。ロータリーは、誰にでも開かれた組織です。クラブ体験の最後の側面は、会員が、有意義な、個人的なつながりを、形成する機会をもてるようにすることです。ロータリー創設者の、ポール・ハリスは、友情は、ロータリーを築く、岩のような堅固な土台、であるべき。と述べております。会員が繋がりを築く時間を、優先する。とは、次のことを意味します

例会の前や、他の行事の最中に、より非公式な交流の機会を設ける。

会員やその他の人々の、個人的、および職業上の功績を祝う。

家族や、仕事の予定と、重ならないように、活動を計画する。

青少年交換、友情交換、職業を土台とする、交換活動の開始。

最後に会員がつながる上で、新たな機会に参加するためのプログラムを紹介する。

ゴードン会長は次のように述べられています。

私たちは、得意とすることを継続すると同時に、変化に対してオープンで前向きになり、世界と自分自身のなかに、平和を築くことに、力を注げば、ロータ



リーはより平和で、より希望のある世界を築く、手助けができます。人々がロータリーと、つながることで、変化をもたらすための能力が飛躍的に、高まります。なぜなら、ロータリーでは人々の、生活をより良くするという共通の目標を、抱く 140 万人近くの行動思考の会員が、行動を起こしているからです。

私たちは、世界で、地域社会で、そして、自分自身のなかで、持続可能な、よい変化のため人々が手を取り合って、行動する世界を目指しております。以上で、私の発表は、おしまいです。御静聴ありがとうございました。このパワーポイントは、マイロータリーからダウンロードできますので、是非、皆様、クラブの例会でセリフも入っておりますので、是非、活用ください。ありがとうございます。



広報・公共イメージ向上委員会 委員長 松永 達人（富里 RC）

みなさん、こんにちは。広報・公共イメージ委員会委員長の松永といたします。所属は富里 RC になります。先程の吉田委員長の素晴らしい発表はできませんが、がんばりますので、皆様よろしくお願い致します。メンバーは、こちらに書いてあるとおりで、ございます。かなり素晴らしい方がそろっております。第 2790 地区における、広報・公共イメージ向上とは、ということです。ロータリーの広報・公共イメージって、なんでしょう。公共イメージって、聞きなれていない言葉だと思いませんか。世間一般では。あんまり公共イメージという言葉を使いませんよね。ロータリーが地域社会や国際社会に対して持つ、印象や評判のことを、指すと思ってます。英語で、公共イメージの場合は、パドリックイメージということなんで、それを、和製にすると、公共イメージと。いう言葉になります。奉仕活動の成果や、貢献度、ロータリーの倫理的な行動や、価値観、社会的責任、ロータリーの親睦、活発化。公共イメージ向上とはですね、昔からロータリーで言われています、陰徳から共感へということで、世界が変わってきております。要するに、ロータリー以外の人たちに、共感されるストーリーの発信をしていこう。このサイクルになっておりますけれども、公共イメージの向上とは、世界を変える行動人としてのロータリーのストーリーを、より能動的に、より積極的に、発信して、共感を通して、会員の拡充や、奉仕活動の、インパクト、向上に、貢献していくという、意味でございます。手段の一つとしてはですね、最近わかりやすくいうと、SNS の活用ですね。FACEBOOK、インスタグラム、TIKTOK とか、そういったものがあります。各地域のメディアですとか、広報社へのプレスリリース。交流会やイベントの開催なんかも、人づてで、ロータリー、こんなことやっているんだ。ということで、結構、皆様にアピールできると思います。主なプレスリリース先、私どもが、何かイベントとかありましたときに、こちらの各社に送らせて頂いております。今年ですね、ポリオデイの、世界ポリオデイのですね、8月20日の親子三代祭りで、行った際に、もちろんプレスリリースするのですが、千葉



日報、千葉テレビが、動画が放映されました。こちらは、当委員会の鈴木委員が、Bay FM と交渉してくれて、番組の5分間を、お借りして、ポリオの根絶を、第2790地区で、このように取りくんでいるんですよ。ということ、放送させて頂きました。通常、ウン十万かかるそうなんです、鈴木委員の交渉によりですね、無料でやらせて頂きました。これは、少し、5分といえどもですね、15万人くらい、お話を聞いて頂けるので、そういったインパクト等も、必要だと思います。公共イメージの対象者というのが、ロータリー以外のすべてはもちろんです、実はですね、我々ロータリアンにも、インナー広告、広報という事をする必要があります。要するに、ロータリーの、イメージを、広報する必要があります。ロータリアンに。ロータリー、またはロータリークラブと聞いてですね、どんなイメージですか？一般の人に。これ、イベントから拾ってきたんですが、

社長さんたちの会合。

お金持ちの年配の方が、集まっている。

駅前。

マツダのエンジン。

電話。意味がわからないですね。

秘密結社のようなもの。

特に何も連想しない。

世界の主要都市に支部を持つ団体。

予防接種を推進している国際クラブ。ここまで下のほうにくると、知ってくれているんだと、思いますが。

駅前はないだろうと思いますよね。

基本的に、こんなイメージを持たれているのが、現状というふうに、我々は、捉えなければならないと、思っております。

組織構築に必要なPMV。4要素なんです、

まず、ビジョン。どんな未来を作りたいのか。

ミッション。ビジョンを実現するために、果たすべき使命は。

バリュー。ミッション、ビジョンを、実現するために、大切にすべき価値観を。

パーパス。存在意義。何故社会に存在し、何故、このミッション、ビジョンに取り組むのか。

これ、組織に必要な、4要素ですけれども、これ、ロータリーにあてはめます。

ビジョンはですね、ロータリーの戦略計画。

ミッションは、国際ロータリーの使命でもあり、世界理解、親善、平和の推進。

バリュー。価値ですね。中核的価値観。ロータリーのもっている、親睦や、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ。

そしてパーパス。存在意義ですね。ロータリーの目的。意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励して、これを育むこと。である。



公共イメージに置き換えると、

ビジョンは、DEIによる持続可能で、良い戦果の生まれる世界の構築。こんなビジョンを描こう。

ミッションは、賛同する仲間を増やして、充実した奉仕活動をしたい。

バリュー。奉仕活動を通じて、社会への貢献を伝えたい。

パーパス。ロータリーの目的。活動が、正しく、広く社会に認知されること。

これが一番、難しいと思いますけれども。

では、ロータリーのパーパス。存在意義とは何か。以下の二つの問いに答えられますか。

1. 小1の子供に、ロータリーは何をしている団体なのと、聞かれた場合、あなたは、一言で、どう答えますか。

めちゃくちゃ難しいですね。これ、そちらの2テーブルで、あとでディスカッションしてもらってもいいかもしれません。

こういうことも考える必要があるかなと。

2. ロータリーは、誰の、何に、役に立っていると思いますか。そして、世の中に、どう、役立っていると思いますか。

こういった事も、考えなければならない。

だから、答えにくいですよ。やはりね。

ひとつだけ、答えやすい、事例として、これから挙げますが、こちらです。

こちら、パキスタンですが、帽子をかぶっている男性、この人、実は日本人です。佐々木統括委員長です。

昨年ですね、パキスタンに乗り込んで、ポリオワクチンを、投与しに行ってます。世界中で良いことをしようという、ロータリーの奉仕理念、ポリオ根絶プログラム、これは、説明しやすいです。

ロータリーって、ひとつの感染症を、根絶させようとしている。おさらいになるのですが、

ポリオという伝染病はですね、小児麻痺ともいわれるのですが、非常に、感染性が高いのです。

感染しやすいのは、5才未満の子供なんですね。ですから、この写真のように、子供のようなひどい症状が起こってしまう病気なんです。

日本では1980年を最後に発症は確認されていません。世界中での感染を根絶しない限り、今後10年での世界での年間発症数は、20万件ののぼると、予想されています。つまりポリオの発症が、世界中のどこかでおきている限り、感染の危険は世界中の子供たちにおよぶことになります。ポリオ、ロータリーはですね、1985年以降、26億ドル以上を寄付して参りました。30億人以上の子供たちにワクチンを投与してまいりました。そのおかげで、いま、99.9%減少しております。今の現状です。最新、データです。アフガニスタンが6件、パ



キスタンが、4件、のみとなっております。他の国は、常在国ではありません。非常在国です。パキスタンと、アフガニスタンだけなんです。ロータリーにとって、ポリオとはですね、理事会決定でもありますが、ロータリーにとって、最重要奉仕プログラムということです。これ、広報の一環なんです、みなさん、BTSって、ご存知でしょうか。韓国の男性たちの、ものすごい若い人達に、世界中の若い人に人気のある人なんです、そのジミーさんという人が、1000 千万ポリオに寄付したんです。国連でスピーチしろと言われて、国連って、こういった、スピーチをしたんです。ロータリーや、大勢の方々のおかげで、ポリオが地球上から、なくなろうとしております。ポリオで苦しむ子供が、一人もいなくなるように、私もこの歴史的な、達成の一翼を担いたいと思います。小1の子供でなくても、中1の BTS 大好きな、女の子に、「ロータリーって、何やっているの?」と聞いたら、「おまえ見てみろ、これ。BTS のジミーが、言っているんだよ。ロータリーのおかげだって。」こんなことも、言えますね。なぜ、日本では、ポリオという病気に関心が低いのか。日本にポリオ感染者がないからですよね。日本では、生後3カ月から12カ月の間に、4種混合のワクチンが、入っているのです。これは日本政府が予算組をしてやっております。なので、みんな聞き慣れていない。でも、小さい子供のいるお母さんなんかは、わかるわけです。4種混合のなかに入っているからです。なので、こういったことも、アピールしていかなければならないということです。日本のロータリー全体の取り組みとして、寺嶋公共イメージコーディネーター。ファシリテーター。等々、皆さんが、取り組んで、先ほど、お話ありました、世界ポリオデイ、フォトコンテストとか、行っております。当地区では3年前、成田さん、新勝寺で、ポリオ祈願プロジェクトを行ったり、第2780地区ですと、バスジャックとか、ウォークラリーとか、やっています。去年は当地区、成田空港で、イベントを行いました。このように、多くのロータリアンが、同じTシャツを着て、皆さんで、広報活動を行ったのですが、この2020年は、千葉親子三代祭り、みんなでTシャツを着て、お神輿を担いで。先程、寺嶋パストから、頂きました、私、神戸に行って参りまして、ゴードン会長に、表彰をされたのですが、なんと、グランプリ、RI会長賞を、取ってしまった写真が、こちらでございます。オクトンの社員の、息子さんたちですけれども、朝から、手伝ってくれてですね、本当に元気づけられたのですが、この写真が、取ってしまったということで、恐縮です。タイトルは、僕が作ったのですが、僕たちが、世界の子供たちを、ポリオから守ると。ということで、ございました。これ、表彰を頂いてきました。(会場 拍手 拍手 大拍手) ありがとうございます。ポイントは、アピールですから、ポリオTシャツ。と、あと少しポーズ。よく、こっちか、こっちか?と言われるのですが、あと少しだから、どっちでも良いと思いますよ。米山奨学生も、こうやって着ると、アピールの材料になりますよね。各クラブでも、こんなことやったり、第12グループさんは、こういうゴルフコンペをやったり、第10グループは、合同例会をやって、全員Tシャツを着ましよう。やったんですが、こんなことも、広報に使えます。ポリオが根絶されれば人類至上、根絶される2番目の病気となることは、ご存知ですか?



実際に感染症を根絶させようとするなんて、すごい、無茶だと言われていたんですね。でも、ロータリーは、そこに手をだしたんです。だって二番目ということは、一つしかないんですよ。根絶されたものは、天然痘だけですよね。あとの感染症って、根絶なんか、本当に不可能に近いと言われていたのですが、99.9%根絶されております。一番重要なのは、私たちが、ロータリーの素晴らしさを、魅力あふれたロータリーストーリーを発信すること。世界中で良いことをしようという、奉仕理念のロータリーです。私達には、世界に、希望を、生み出すストーリーがあります。周囲に共感される、ロータリーストーリーを伝えるのは、私達ひとりひとりです。なので、さきほどみたいに、ロータリーって、何？と小1に聞かれても丁寧に答えられるような、ものがやっぱり欲しいですね。これ、先ほど言いました、ロータリーのポリオに、根絶させようと、決めたときに、WHO から、笑われたらしいです。そんなの、素人が何を言っているんだと。しかしロータリーは、やろうとして、これだけの金が集まったんです。ロータリアンから。そしたら、WHO も、よし、やりましょう。一緒にやりましょう。と、そんなスタートがありました。こんなロータリーの素晴らしいストーリーを、我々が、ロータリアンじゃない方に、伝えることができれば、あー、ロータリーに入って、良いことを、してみようかな。って思ってもらえるような気がします。御静聴、ありがとうございました。



フェロシップ・親睦活動委員会 委員長 佐野 正子（浦安 RC）

皆様、改めまして、私は浦安 RC に在籍しております、佐野正子、本年度フェロシップ親睦活動の委員長を拝命させて頂き、がんばっております。現在お名前をお呼びしますので、その場で立って頂きたいと思うのですが、

フェロシップ親睦委員会には、

安田 勝紀（柏西 RC）

倉島 圭子（鴨川 RC）

野池 尚美（佐倉中央 RC）

萩原 康宏（成田コスモポリタン RC）

委員会はこのようなメンバーで、活動させて頂いております。難しい話が多かったので、私の話はリラックスして聞いて頂きたいのです。何故かと申しますと、私の担当は、フェロシップ親睦活動をなさっている方達の応援という、委員会でございますので、フェロシップの活動をしていらっしゃる委員会からのご報告を受けたり、年度末の総会にお呼び頂いて、拝見させて頂くというようなことが主旨で、承ったものですから。現在、親睦グループには、第2790 地区野球リーグがございます。参加クラブ数は、9クラブ、参加人数は、226名、地区からの奨励金は、15万をお届けしております。次の女性ロータリアンフェローズ 33クラブが所属していらっしゃいます。参加人数は85人。



奨励金は、9万円となっております。次に、スリランカクラブ。28参加クラブ。参加人数は60名。奨励金は、6万円となっております。次に、二輪の会。こちらは、23クラブ、参加人数は64名。奨励金は、7万円でございます。今後の課題としましては、親睦グループを、どのように推進していくか。増やしていくかです。皆さんおやりになりたいことが、何名かで集まって、企画して頂いて、こういう、グループを作りたいという、ご希望があれば、申し出ていただければ、楽しませていただけるなど、思っております。まずは、フェローシップ親睦活動ですので、退会防止のために、皆さんと、楽しめる活動ができるということが、非常に大事なと、私は、考えています。あとは、ロータリーマップというのが、第2790地区の、ホームページを見て頂くと、ロータリーマップというのがございまして、そこに所属している会員様たちのお店とか、いろいろなものが掲載されておりますので、できれば、皆様も、お使いになって頂けると、さらに、会員同士の、有効利用というのではないですが、いろいろな職業にも役立つのではないのかなと思っております。そして、もうひとつなんです、以前から、私が、勝手にやっていたことかもしれないんですが、親睦活動の一環として、特に今年は鶴澤ガバナーから、ロータリアンであるからこそ、その経験という、ロータリアンであるからこそその経験をさせていただきたいということで、各国の、大使館を、訪問しております。各国の大使館を訪問と申しますと、いろいろ、言葉的にも語弊があるのかもしれないですけど、遊びで伺っているわけでは、ございません。楽しいから伺っているのでもなく、もうちょっとあるのですが、意味があって、皆様と、伺わせて頂きました。まずは、ひょんなことからなんです、やはり親睦で、飲んでいる最中に、シンガポール大使館に行きたいねという話になって、

シンガポール大使館に、行ってまいりました。これは、何故かと申しますと、今日、ご出席の皆さん何人か、ご一緒させて頂いているのですが、来年の5月に、シンガポールの国際大会が、ございます。シンガポール国際大会のときに、我が第2790地区が、どのように楽しく、シンガポールの重要な方達と、お会いできるのか。という、コネ探しに行ってみよう。一番真ん中に映っていらっしゃる、ピーター・タン・ハイ・チュアンさんという、大使が、全権大使なんです、全権大使というお立場というのは、馬車で皇居に、天皇陛下にご挨拶に行ける立場の大使なので、大使の格としては、非常に格の高いお方なんです、とても親日で、日本語も、よくおしゃべりになるし、歌も、得意ということで、このような方で、大使館のなかで、カラオケをさせて頂いたり、すごくよくして頂いて、たぶん、鶴澤ガバナーがその後を引き継がれて、国際大会のほうは、素晴らしい、第2790地区の、千葉ナイトが、開催されると思います。御紹介した後は、鶴澤ガバナーの、お力で、全てさせて頂いております。大使館のなかで、このように、晩餐会をして頂きまして、とりあえず、若潮 RC の、国際大会委員長とか、いろいろな方をお呼びして、第2790地区の、ロータリークラブの活動というような、御紹介をさせて頂いてきました。

次なんです、次にどういう大使館に行くと、心がときめくのかなと、考えまして、やはり皇居が目の前にある、イギリス大使館に、お邪魔してまいりました。この



際は、来年ですかね、水野、日本の RI 理事になられる、水野さまもおいで頂きまして、先程、松永さんのお話にあったように、やはりポリオという活動というのは、ロータリー一番重要項目だということで、ロータリーの旗を、掲げさせて頂いて、写真を撮ってまいりました。ジュリア・ロングボトムさんという女性の大使なんです、非常に DEI だとか、SDG'S とか、いろいろな昨今の、話題のある、テーマというのに、ご興味がございまして、今度、第 2790 地区には、女性の経営者さんが沢山いらっしゃるから、やはりそういう会、お食事会を、してほしいという、お話を賜っていたのですが、G7 とか、諸々のお忙しいスケジュールのなかで、なかなか私どもと、スケジュールが合っていないのですが、いずれ、ジュリア・ロングボトムさんとも、我々の、第 2790 地区の女性の経営者さんたちを集めて、そういうお食事会でもしようと思っております。こちらの両名は、ポリオ委員会。財団のポリオ委員長さんなので、ポリオ委員長さんから、ジュリア・ロングボトムさんへ T シャツをプレゼントさせて頂きました。その後、大使館のなかで、大英帝国ですので、飾ってあるものも沢山ございました。これは、第 2 回の、シンガポール大使さんの、鑑賞会だったと思います。このような形で、いろいろポンカン日本のロータリアンが、こういうことしているんだ。良い人たちなんだ。と、いうことを、大使に、御理解頂けたと思っております。そして、一番見ていただきたいのがこちらなんです、国際ロータリーで、初めて、ロータリーというのは、戦争とか政治には、介入しないという方針で、運営されてきたと存じておりますが、初めてウクライナの戦争が起きたときに、ウクライナ支援に、舵を切られたんですね。それで、たまたまなんです、ポーランド大使に御紹介いただきまして、ポーランドは、フクデンカイさんという、ところと、親しくされてまして、ウクライナの難民、避難民を、ポーランドのクラクフというところで、支援していらっしゃるんですね。その支援のための、チャリティーコンサートを、させて頂きました。こちらに映っていらっしゃるお写真の方達はほとんど、第 2790 地区の、我が地区の、賛同者の方達が、お集まりいただきました。これは、財団を主体に、メンバーを、来て頂くメンバーを募りましたので、これだけになってしまったのですが、このときに、ご寄付を約 50 万、ポーランドのほうに、差し上げて、ポーランドから、クラクフの支援団体のほうに、お届けくださったということでございます。このときも、やはり、ポリオの旗は、きちんと委員長が持ってきてくださって、ちゃんと掲げるように、させて頂きました。こちらは、ポーランドで、ご挨拶頂きました、皆さん、たぶんご存知ないと思いますが、来年、日本ロータリーの理事に就任される、水野さんでございます。お顔を覚えておくと、楽しいと思います。こちらは、ポーランド大使です。次に伺いましたのが、オランダ大使館でございます。オランダというのも、大国なので、やはりいろいろ繋がりをもてたらいいなということで、伺ってまいりました。オランダも、晩餐会をしてくださいまして、楽しい食事会をして、これからというときに、こちらのオランダ大使が、転勤されましたので、新しい大使が就任しましたら、また、是非、伺わせて頂きたいなと、思っております。ポーラ



ンドなんです、ポーランド大使は、いろいろな連絡をくださりまして、こういう、民族舞踊があるから、来ないかとか。それぞれ、ランダムに、お手紙がくるようで、時間がある方達が集まっていると、伺っております。そして、今年の、小倉年度の国際大会が、メルボルンでございました。メルボルンのときは、メルボルンの総領事館に、ガーデンパーティー、そして、ご散会ということで、呼んで頂きまして、こちらは、若潮 RC の浅野さんをはじめ、皆さん、うちの地区の方も、多数、参加くださいました。こんな感じでガーデンパーティーとかいうのも、ちょっと、心がくすぐられる、集まりで、とても楽しかったです。鶴澤ガバナーも、奥さんも、とても仲のよいお姿で、嬉しかったです。これが、メルボルン。シンガポールは、先程申し上げました、全権大使が、やはり転勤なされたので、新しい、大使との、面談を、してございます。で、一番大事なのが、このパキスタンなんです、先程佐々木統括が、パキスタンにワクチンを投与しに行かれたという、ことだったので、また、1月か2月にいらっしゃるといことで、パキスタン大使館に、鶴澤ガバナー、皆さんで伺ってきました。これは、何故かと申しますと、パキスタンは、ビザがなかなか下り難いといことで、とにかくロータリアンのために、ビザを早く下してくださいますように、とうことで、伺って参りました。写真は以上なんです、話しが長くなりまして、申し訳ございません。このような活動を、どんどんやっていきたいなど、私自身は思っております。来年も、3月にはもう、ポーランド大使館に、また、お邪魔するような、企画も考えておりますので、クラブオールで、流させていただければ、どうぞ、御参加頂きますよう、よろしくお願いたします。以上でございます。ありがとうございました。



My Rotary 登録推進委員会 委員長 池田 勝之 (千葉 RC)

皆さん、こんにちは。My Rotary 登録推進委員会 委員長を仰せつかっております、千葉 RC 所属の池田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。大分時間が過ぎてしまって、誠に申し訳ないのですが、時間調整ができるほどですね、技量もないので、ちょっとごわごわしながら、やらせていただきます。My Rotary、先ほど統括委員長より千葉県 150 周年、ということでもございました。東京ディズニーランドが、40 周年、宣伝ではないのですが、My Rotary も、ここで 10 周年を迎えることになりました。2013 年 8 月に、My Rotary はスタートしております。この My Rotary はですね、世界的なロータリーのネットワークを形成し、クラブ単位ではなくて、個人単位、ロータリアン個人のオンライン、オンライン拠点となるツールとして生まれた My Rotary でございます。本年度、鶴澤年度はですね、My Rotary 登録率を、60%以上を目標とさせて頂いております。こちらにでてるのは、44.93%は、現在 11 月 15 日現在の、地区の登録率でございます。皆さんのおかげをもちましてですね、5月に少し、フライングしながら登録を、開始させていただいたのですが、5月7月9月11月と、順調に伸びておまして、赤いところの3月9月は目標値になっております。これを達成できるように、頑



張っております。皆さんの御協力をお願い致します。

皆さんのお手元に、My Rotary 登録状況報告、という紙がございますが、これを基につくった表になるのですが、

青い線が登録されている人。

黄色いところが、まだ未登録のメンバーなのですが、赤いラインが60%ということになっております。

1本のラインが、各クラブ1クラブずつになっておりますので、まだ登録が60%に達していないクラブが、あることがわかります。

是非、この赤いラインを越えられるように、皆さんの協力をお願いしたいというふうに思います。

では、なぜ登録が進まないのか、というのをちょっと、考えてみますと、登録方法が複雑だったり、必要な情報がどこにあるのかが、わかりにくいとか、反応が遅い、何ができるか、わからない等、いろいろな理由がでてきます。

登録方法が複雑なことに関しましては、代表的なのが、Eメールアドレスが、入会当時の登録したアドレスと、実際に My Rotary に登録したときのアドレスが違っているというのが、大多数です。

今までやったきたなかでも、このパターンが一番多い状況になっております。

あとは、アルファベットを入れていくのですが、名前をアルファベットで入れるときの、綴りがちょっと、違っているとかがですね、

こんな事が原因で、登録がちょっと、うまくいかない。1回失敗しますと、その次がなかなか、順調にいかなくなってしまって、

RI に連絡を入れなければ、いかなくなってしまうということが、起きてしまって、そこで断念してしまうという様な状況が起きています。

そして、何が、My Rotary で、できるかというところなのですが、

今日、お手元のほうに、My Rotary 攻略ガイドブックというのを、配らせて頂きました。

こちらは、委員会のほうです。本年度作成して、るる千葉のようなですね、ちょっと見て、面白そうで、ワクワクするような、見てみたいと思うようなものを目指して作ったのですが、なっているかどうかは、皆さんのご判断です。

なかに、QR コードを、ところどころ、入れてあるのですが、これは皆さんが、アクセスしたいところに、すぐアクセスできるように、

ということで、この QR コードを読むと、すぐにアクセスできるような、工夫をしております。

まず、My Rotary ですけれども、

個人プロフィールとか、こちらの確認と修正ができます。

続いて、クラブの会員の検索とか、出張先で、急にメーキャップするというとき



には、

特に、どんなクラブが、何時に例会をやっているよと、というようなことも、すぐ調べるようなことができるようになっております。

また、ロータリーの最新情報。こちら、冊子をご確認ください。

あと、ロータリーを学ぶ。こちらは、ラーニングセンターになるのですが、

こちらの4頁に、載っております。先程、増強委員長、吉田増強委員長が、仰っていましたけれども、

ああいった資料も、みんなこういったところから、引っ張り出してくることが、できるようになっております。

お手元の冊子の最後の頁に、ロータリーの歴史を学ぶというのがあるのですが、ロータリーの歴史、こちらの、ロータリーの歴史を学ぶということはですね、組織の使命、文化、価値観を、理解し、メンバーシップを意義深く、感じるために、とても重要だと、

いうことでございます。

是非とも、ロータリーのお勉強をして頂いて、より身近に感じていただければと、いうふうに思います。

また、ロータリー財団の支援ということで、My Rotary から、ロータリー財団の、寄付を入れることができます。

こちら、非常に簡単にできますので、やり過ぎ注意。というところも、ございますが、是非、こちらの支援のほうを、

ご活用頂ければと、思います。

また、ロータリーのブランド。こちらは、ロータリーのロゴの使い方、そういったものが、細かく載っておりますので、そちらをご参考に頂きたいと思います。

クラブを運営する。というところでございますが、

こちらは会長、幹事等が、事務局さんもそうですが、必要になるような、ページになっております。

目標値を入力したりとかですね、結果を入力したり、ガバナー補佐も当然重要なところですね。

そういったページが、使われてございますので、ご活用頂きたいと思います。

だいぶ駆け足だったのですが、My Rotary の登録に困りましたら、まず、委員会のほうに、御連絡頂ければ、なんなりと、

ご協力させていただきますので、まずは、御連絡を頂ければと思います。

結構なクラブの方が、御連絡、頂いておりますので、「こんなの、相談していいのかな。」というような事も、ございましたら、

ご遠慮なく、御連絡頂ければと、いうふうに思います。



私の携帯電話は、365日24時間、ずっと大丈夫ですので、都合悪いときは、電話に出ませんので、(会場 笑)

是非、御連絡、頂きたいというふうに、思います。

すいません。すごい駆け足でしたが、皆様のご協力が大切でございます。何卒、60%を達成できるように御協力の程、よろしくお願い致します。

以上です。ありがとうございました。

休憩 (15時15分まで)



グループディスカッション (RLI方式)

司会進行 広報・公共イメージ向上委員会 長井 弘亘 (市川南 RC)

アイスブレイク

テーブルディスカッション



講評 地区ラーニングファシリテーター 寺嶋 哲生 (柏 RC)

皆様、長時間にわたりまして、お疲れ様でございました。今日は、勤労感謝の日でございます。普段、人一倍、重責を担われている皆様ですから、今日ぐらいは、自分に対する、ご褒美で、ゆっくりした休日を、過ごしてよいはずなので、よくぞ皆様、お集まり頂きまして、心より感謝を申し上げる次第でございます。今日の一部でございます。5人の委員長さんの最新情報紹介が素晴らしい内容でございました。

各委員長さんが、今、これを伝えたいということ、真剣に考えて、一生懸命勉強されたのが、よくわかります。素晴らしい内容でございましたので、是非、皆様にはですね、これを、各クラブの例会の卓話で委員長さんをお招き頂いて、是非、クラブの会員の皆様にも、今のお話を、お聞かせ頂ければいいなあと、思って私は、聞いておりました。第二部の、グループディスカッションでございます



が、似顔絵から始まったというのが、とても良かったと思います。これで皆さんとの距離がぐっと縮まったような気がします。大倉先生まで、お描きになって頂いて、びっくり致しました。あの笑顔絵は、アーチクラブソサイティのギャラリーに、あれを飾られたら、良いんじゃないかなと、(会場 笑) というふうに思ったところでございます。皆さん、全員の似顔絵を、拝見したわけじゃないのですが、これは一回、一点だけでも紹介しようと思いましたが、千葉東 RC の坂下さん。是非、ご自分のお描きになった似顔絵と、お顔を横にして、皆さんにぐるっと一周して、見せて頂けたら、ありがたいです。(会場 拍手 拍手) (会場 拍手) 是非、ロータリーの名刺に載せたらよろしいのかなと、思って、拝見いたしました。グループディスカッションですけれども、皆さん、非常に熱心で、しかも非常に具体的な内容で、素晴らしいなと思って、聞かせて頂きました。例えばですが、外部卓話を探し方とかですね、グローバル補助金をかつて申請した経験談とかですね、各クラブで行っている会員増強の方法とかですね、SNS の使い方とどうしているかとかですね、女性会員の勧誘をどうしているかとかですね、そういう話を皆さんが意見交換をされている。熱心に意見交換をされているのは、素晴らしいなと思って、お聞きしました。例えば、例会でのアトラクションをどうするか。親睦例会をどうするか。一つはですね、屋形船で、コンパニオンを呼んで、出席率が、だいたい上がったという話がありました。是非、ご参考にしていただければと思います。そして、もう一つなんです、クラブが崩壊の危機に直面して、それを、どう再生するのか。それに、こうやって、取り組んだ。という話も大変素晴らしい試みでありまして、そんなのも、大変、皆さんのご参考になったことだと、思います。それから、もう一つ、これは是非、御紹介しようと思ったのですが、重鎮が、いらっしゃるクラブで、改革をしよう、と、いろんな案を作ったのですが、全部、認められなかったと。(会場 笑) なんて俺を会長にしたんだと。(笑) そんな話があります。是非、めげずに、チャレンジを続けて頂ければと、というふうに思う次第でございます。年に一度、国際協議会というのが、開かれます。世界中からガバナーエレクトが集まるラーニングの場があります。これを経験しませんが、ガバナーになる資格が、ありませんので、寒郡ガバナーエレクトも、年明け早々、たぶんアメリカに行くことになるんだろうと、というふうに、思っております。その会場の入口なんです、かつては、「入りて学び、出でて奉仕せよ。」と書いてあったんです。それが10年くらい前に、「Join Leaders ,exchange Ideas.Take Action. 」という風に言葉が代わりました。リーダーが集まって、アイデアを交換すると。ちょうど、各クラブから、クラブのリーダーの皆さんが集まって、熱心に、アイデアを交換されたわけでありまして。最後は、Take Action.

是非、皆さんクラブに持ち帰って、行動を起こして頂きたいと思います。その様に期待するところでございます。この素晴らしいセミナーを企画して頂きました、管理運営統括委員会の皆様と、そして、勤労感謝の日にもかかわらず、こうやって参加されて、熱心に、討議された、皆様に、心より、敬意を表して講評に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。(会場 拍手 拍手)



閉会の辞 管理運営統括委員会 副委員長 大倉 崇（市原中央 RC）

みなさん、こんばんは。長い時間、ありがとうございました。私は、市原中央 RC の大倉と申します。今日は、これで閉めてしまうのは、ちょっともったいないから、少し自分の経験をひとつ、お話します。私は 2000 年から、ずっと地区のロータリー財団に所属しております。いろんな経験をしてきました。特に、国際親善奨学生に一番力を入れております。昔は、ずいぶん多かったのですね。2006 年のときに、一番最初で、一番最後となって、アメリカの国際親善奨学制度、オリエンテーションですね。だいたい、子供たちが 120 人、いるところ、まとめて一つやりました。一番、私は第一地域で、出してもらって、すごく勉強になったです。で、勉強になったことは、今日、皆、今日の、会合と思います。こういう 120 人の組み合わせたの場合に、いろんなバストガバナーは、いろんなテーマを持っているんですね。ただ、そのバストガバナーは、ようするに、ファシリテーターという感じでね、もう、あのとき、私の、自分の、担当のテーマ。ちゃんと子供たちに、伝えて、それで、国際ロータリーが、どういうことをやるか、2～3分で調べて、そのあと、自分の、考えね、このテーマについて考えて、2分喋って、だいたい5分喋ったあとに、あとの55分は、こういう感じで、もう、それぞれ、質問やら、いろんな意見をだしてきているんですよ。それ、素晴らしいと思います。まとまらないと思ったけどね。やっぱり、今日、先ほどね、寺嶋さんが言ったように、正しい結果は、ないと思います。正しい方向性は、わかります。方向性だけではなくて、その他に、ようするに、いろんな120人の人たちが、考え方がわかるから。これが一番大事だと思います。今日のこういうセミナーが、だいたい同じと思いますが、新しいロータリーの、こういう、セミナーの方向ですね、是非、皆さんね、私もロータリー30年くらいね、変化がすごく弱いです。でも、やっぱり、ポール・ハリスも言っていたことですが、目的は、同じ。変化というのは、時代に合わせて変化しないとイケない。クラブでは、すぐにこれ、全部やるのではなくて、少しずつ説得しながら、変化してください。是非、このセミナーをクラブに役に立ってください。今日は、本当に皆さん、ありがとうございました。（会場 拍手 拍手）